



# 萱中だより

《校訓》 礼儀・自主・勤労・協同

三笠市立萱野中学校

校長 菊地 佳子

三笠市萱野 192 番地 TEL 2-2308

発行：令和2年11月30日 <特別号②>

## 令和2年度 学校の教育活動についてのアンケート（保護者用）集計結果

保護者アンケートは今年度も全家庭からのご提出をいただきました。ご協力大変ありがとうございました。

アンケートの内容項目を精選して3年目となります。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で十分な教育活動を行えなかったため、今年度のみ削除した設問もありますが、3年間の経年変化も比較しながらご覧いただければと思います。

【学校経営に関するもの】					
問	評価項目	肯定的 (4、3)	前年度 肯定的割合	一昨年度 肯定的割合	否定的 (2、1)
1	学校は、教育目標や教育方針、その達成に向けた方策を伝えている。	94.1	100	100	5.9
2	学校や学級の教育活動に関する情報提供は、家庭での教育にも役立っている。	94.1	87.5	95.2	5.9
3	学校は、保護者等が学校参観・授業参観できる機会を多く設けている。		93.8	100	
4	学校は、生徒・保護者・地域の願いに応えた教育に努めている。	82.4	93.8	95.2	17.6
5	学校は、お子様の心身の健康や安全について、相談できる体制をつくり、保護者と連携を図っている。	94.1	93.8	90.5	5.9
6	学校は、いじめの防止・対応等に取り組んでいる。	94.1	87.5	90.5	5.9
7	学校は、CSの活動や地域の方と連携した活動を盛んに行っている。		100	100	

### ◆学校経営に関するもの

概ね高い評価をいただいております。本校の教育活動に対する日頃からの温かいご理解とご支援の表れと受け止めております。しかし、過去3年間で今年度が一番低い数値になっている項目もありますので、保護者・地域の願いをしっかりと受け止めながら、より一層の改善を重ね、充実した教育活動を行っていきたいと思います。

また、CSにつきましては今年度新型コロナウイルス感染症の影響で十分な活動は行えませんでした。停滞することなくさらに発展した取組を進めていけるよう今後も活動を行っていきますので、ご協力、よろしくお願いいたします。

「いじめ」の対応につきましては、道徳教育の充実をはじめ、今年度もいじめ根絶集会やスローガンの作成、いじめ調査などの取組を行っております。また、コロナ禍ということもあり、分散登校時の「ココロの授業」実施、そして、短学活等で都度、指導を行っております。7月と10月に行ったいじめ調査では、嫌な思いをしたことがあると回答した生徒はいませんでした。心配な点等ありましたらいつでもご連絡下さい。今後も、全教職員が「いじめはどんな理由があっても許されない」という共通認識に立ち、生徒との信頼関係を基盤とした「心に響く」指導を行って参ります。

【保護者の方に関するもの】					
問	評価項目	肯定的 (4、3)	前年度 肯定的割合	一昨年度 肯定的割合	否定的 (2、1)
8	毎日、朝食をとらせている。	100	93.8	85.7	0
9	毎日、同じくらいの時刻に寝る、起きるようにしている。	94.1	81.3	81.0	5.9
10	本や新聞を読むようにすすめている。	47.1	75.0	47.6	52.9
11	お子様との会話が多い。	94.1	93.8	90.5	5.9
12	ご家庭で携帯電話等の使い方に関するルールや約束を作っている。 (または、テレビゲームや携帯電話等を持たせていない。)	70.6	68.8	81.0	29.4
13	良いところをほめるなどして自信を持たせるようにしている。	88.2	87.5	90.5	11.8
14	夢や目標に向かって努力することや最後までやり抜くことの大切さを伝えている。	94.1	93.8	95.2	5.9
15	お子様に「挨拶・返事」の大切さを伝えている。	100	100	95.2	0
16	自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視している。	94.1	87.5	90.5	5.9
17	地域社会などでのボランティア活動等に参加するように促している。		62.5	52.4	
18	学校から送られてくる文書を読んでいる。	88.2	100	90.5	11.8
19	CSの活動、学校行事や懇談会等へ参加するようにしている。		75.0	85.7	
20	地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子供たちの教育に関わってくれる人が多いと感じている。		93.8	95.2	

#### ◆保護者の方に関するもの

多くの項目で昨年度の肯定的評価の割合を上回っており、特に、あいさつ・返事・就寝起床時間など、お子様の「基本的生活習慣」に関わる質問項目の評価が高く、日頃のからの保護者の方々の働きかけが萱野中生徒の安定した学校生活につながっています。

しかし、社会問題にもなっておりますが、スマートフォン・タブレット等の長時間に及ぶ視聴・使用が気になる場所ですし、それに伴う活字離れも懸念される事項です。2/3以上のご家庭がルールや約束を作ってお子さんに使用させていただいておりますが、長時間の使用は学習面や健康面、対人関係等への影響が懸念されますので、再度、ご家庭でもお子様とルールを見直すなど、使用についての確認をお願いいたします。

【お子様に関するもの】					
問	評価項目	肯定的 (4、3)	前年度 肯定的割合	一昨年度 肯定的割合	否定的 (2、1)
21	お子様は授業がわかりやすいと言っている。	70.6	62.5	90.5	29.4
22	お子様は楽しそうに学校生活を送っている。	70.6	50.0	66.7	29.4
23	お子様は基本的生活習慣が身についている。	70.6	68.8	76.2	29.4
24	お子様は学習習慣(家で学習する習慣)が身についている。	47.1	37.5	61.9	52.9
25	お子様は学習の基礎・基本(基礎的内容、学習の仕方)が身についている。	47.1	56.3	76.2	47.1
26	お子様は自主的に判断し、適切に行動できる。	52.9	56.3	71.4	47.1
27	お子様は礼儀正しい(挨拶や返事、言葉遣い等)。	82.4	87.5	90.5	17.6
28	お子様は人間関係を築く力(コミュニケーション力)がある。	58.8	68.8	61.9	41.2
29	お子様には物事を最後までやり抜く粘り強さがある。	52.9	62.5	71.4	47.1
30	お子様はボランティア活動に参加する等、地域社会に貢献し、人の役に立とうとしている。		62.5	52.4	

### ◆お子様に関するもの

全体的に低い評価となっており、特に25～29の設問につきましては、全て3年間で一番低い数値となっています。特に、「基礎・基本が身についている」、「人間関係を築く力がある」につきましては、本校の研修の重点課題としても位置づけておりますので、「確かな学力」そして「コミュニケーション能力」の向上を図れるよう今後も授業改善を進めていきます。

「授業がわかりやすいと言っている」、「基本的な生活習慣及び学習習慣（家で学習する習慣）が身についている」の3項目につきましては、昨年度よりも肯定的な数値が高くなっております。昨年度から市内統一の家庭学習週間の実施、そして、運動振り返りシート記録、さらに今年度からは全学年で生活記録による自身の生活の振り返り等を行っております。さらに高い数値となるよう、今後ご家庭と協力しながら取組を進めていきたいと思っております。

「楽しそうに学校生活を送っている」は3年間で1番高い数値となりました。コロナ禍ではありますが、行事等の充実も図り、さらに楽しく有意義な学校生活を送れるよう指導・支援に努めてまいります。どうかご理解とご協力をお願いいたします。

### 【ご意見・ご要望】

○小さい学校だからこそ問題が起きた時には生徒本人に関わる教職員、管理職で連携をとっていただきたいのが願いです。

○高校進学について、常に少人数でしか活動できていない事に不安があります。大きな集団に入った時に、意見や考えをもって行動できるのか、うまく適応できるのか。年間で他校の同世代と関わり、共に学ぶ環境があればいいのではと思っています。（お互いの発表の場ではなく、共に言葉を交わし学び合う、宿泊研修を合同でなど）

○生活のきまりを基本にしっかりと全職員で確認・連携を取りながら、共通認識のもと、同一步調で指導をしていきます。

○新型コロナウイルス感染症の感染状況によるところがあり、授業時数の確保という課題もありますので、できることを少しずつ取り入れていきたいと考えています。

保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。今後、これらのアンケート結果等を真摯に受け止め、さらに充実した教育活動を展開できるよう、全教職員が一丸となって努力を重ねていきます。

保護者並びに地域の皆様におかれましては、今後ともご理解・ご協力をお願いいたします。

続いて・・・

## 令和2年度 生徒アンケート集計結果

生徒アンケートにつきましては、「学習に関わる生徒アンケート」と「生活に関わる生徒アンケート」を実施致しましたので、集計結果をお知らせ致します。

保護者アンケート同様、今年度のみ削除した設問もありますが、全国学力・学習状況調査の質問紙の項目も参考に、より本校生徒の実態を把握できるものに内容項目を精選して、3年目となります。3年間の経年変化も比較しながらご覧いただければと思います。

## 令和2年度 学習に関わる生徒アンケート集計結果

	質問項目	肯定的 (4、3)	前年度 肯定的割合	一昨年度 肯定的割合	否定的 (2、1)	否定的理由
1	先生は授業の始めに、前の授業の復習を行っていますか。	88.2	93.3	90.5	11.8	
2	先生は電子黒板や実物投影機、動画、資料等を用いて、分かりやすい授業になるよう工夫していますか。	94.1	100	95.2	5.9	
3	先生は授業のねらい（課題）を明確にした授業を行っていますか。	100	100	100	0.0	
4	先生は授業の終わりに、まとめと学習内容の振り返りを行っていますか。	100	93.3	95.2	0.0	
5	先生は分かりやすく説明していますか（言葉の使い方、黒板の書き方、プリントの内容等。）	94.1	100	85.7	5.9	
6	先生は皆さんの質問等に、親身になって対応していますか。	100	100	90.5	0.0	
7	先生は課題の解決に向けて、皆さんが自分で考え自分で取り組めるような授業を行っていますか。	100	100	95.2	0.0	
8	先生は生徒の皆さんが意見を言い合える授業づくりをしていますか。	100	100	100	0.0	
9	先生は他の人の見方や考え方に触れることのできる授業を行っていますか。	100	100	100	0.0	
10	総合的な学習の時間（ツール）に学習したインターネット等での調べ方やパソコン等での資料のまとめ方、発表の仕方は身に付きましたか。	100	86.7	85.7	0.0	
11	総合的な学習の時間（自主研修、地域科）は、自らテーマを設定し、調査することで三笠への理解を深める時間となっていますか。	94.1	86.7	95.2	5.9	
12	あなたは家で計画的に学習し、学力が向上するように努力していますか。	64.7	66.7	76.2	35.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習をしている時もあればしていない時もある（あまりしていない）</li> <li>・計画的に学習するのは苦手（立てていない）</li> <li>・勉強の仕方がわからない</li> </ul>
13	あなたは他の人の見方や考え方にふれるなどして自分の考えを深め、自ら課題を解決しようとしていますか。	94.1	80.0	90.5	5.9	



14	授業中など自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表していますか。	88.2	80.0	85.7	11.8	
15	授業で学習したことを、普段の生活の中に生かす（活用する）ことができないか考えますか。	88.2	73.3	57.1	11.8	・考えたことがなかった
16	問題が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。	76.5	86.7	90.5	23.5	・先生に聞いてもわからなかったら申し訳ないから
17	普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。 (教科書や参考書、漫画や雑誌は除く) A. 1時間以上 B. 30分以上、1時間未満 C. 10分以上、30分未満 D. 10分未満	35.3	20.0	38.1	64.7	・漫画などを読んでいる ・時間がない ・優先して読んだりはしていない ・本があまりない ・本が好きじゃない

来年度からスタートする新学習指導要領の実施に伴い、本校でも「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりを目指し、各教科における授業改善はもとより、小中一貫教育を活用した授業スタイルの確立、そして研修の充実に取り組んでいるところです。

◇「主体的・対話的深い学び」を構成する3要素

- ①主体的な学び → 興味・関心や見通しを持つ、振り返って次につなげる。
- ②対話的な学び → 互いの考えを比較、多様な手段で説明、協働して課題解決する
- ③深い学び → 知識技能の習得・活用、自分の考えや新たなものを形成する

◇「求められる3つの力」

- ①「学びに向かう力・人間性」
- ②「知識・技能」→「理解していること・できることをどう使うか」
- ③「思考力・判断力・表現力」

これらの『資質・能力の育成』及び『深い学びの実現』に向け、

- ①単元計画の提示→単元を通して身につけたい“力”の確認
- ②協働学習の設定→個人思考（自分で考える）、集団思考（みんなで考える）の場の設定。
- ③主体的な学習 →まとめ・振り返りの充実

に取り組んでいます。アンケート結果では肯定的な意見が多く、生徒への意識付けが進んでいるように感じます。しかし、「計画的に学習をする」、「諦めずに取り組む」など主体的な学習に課題が見られましたので、今後もさらに充実した指導を行い、現在の取り組みが成果として結果として表れるよう工夫改善していきます。

保護者アンケート同様、家庭学習への取り組みが特に低い数値となっております。各学年目安の時間を提示しておりますが、まずは習慣化させることからスタートし、少しずつ時間を延ばしていけるよう、ご家庭でもアドバイス等していただければと思います。

ご協力、よろしくお願いいたします。

## 令和2年度 生活に関わる生徒アンケート集計結果

	質問項目	肯定的 (4、3)	前年度 肯定的割合	一昨年度 肯定的割合	否定的 (2、1)	否定的理由
1	自分には、よいところがあると思う。	82.4	73.3	71.4	17.6	・良い所が見つからない ・あまり考えない
2	先生はあなたのよい所を認めてくれている。	94.1	100	85.7	5.9	
3	学校の規則や社会のルールを守っている。	100	93.3	90.5	0.0	
4	元気で気持ちの良い挨拶や返事を心がけている。	94.1	86.7	81.0	5.9	
5	将来の夢や目標を持っている。	76.5	53.3	57.1	23.5	・まだ考えていない。高校のこと もこれから考えていく ・夢がない
6	朝食を毎日食べている。	94.1	73.3	95.2	5.9	・体調が悪いときは、食べる気が しない
7	規則正しい生活を心がけ、体調管理に気をつけている。	100	73.3	85.7	0.0	
8	身の回りの整理整頓を心がけている。	88.2	66.7	80.9	11.8	・気がついたら汚い
9	家の人（兄弟姉妹は含みません）と学校の出来事について話をする。	88.2	80.0	95.2	11.8	・関係ないから
10	地域行事に参加している。		46.7	66.7		
11	学校や地域をよくするために自分に何が できるかを考える事がある。	82.4	66.7	47.6	17.6	
12	地域の大人に勉強やスポーツを教えても らったり、一緒に活動することがある。		53.3	42.9		
13	ものごとを最後までやり遂げて、うれし かったことがある。	100	93.3	76.2	0.0	
14	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑 戦している。	94.1	80.0	47.6	5.9	
15	学校に行くのが楽しいと思う。	70.6	80.0	42.9	29.4	・勉強が苦手 ・嫌いな教科があるときは行き たくない ・あまり学校が好きじゃない
16	物事を進める時、見通しをもち、進んで 行動している。	94.1	93.3	76.2	5.9	
17	交通ルールを守ったり、身の回りを整理 整頓するなど事故防止に努めている。	100	93.3	85.7	0.0	
18	運動する時間を確保している。	82.4	60.0	65.0	17.6	・運動していない ・あまり時間を確保できていない
19	スマホやゲーム機等の使い方について、 保護者との間にルールがある。	76.5	93.3	76.2	23.5	・考えたことがない ・ルールがない

20. 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどのくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、音楽を聞いたりしますか。（ゲームの時間は除きます。）

A			B			C			D		
今年	前年	一昨年	今年	前年	一昨年	今年	前年	一昨年	今年	前年	一昨年
35.3	20.0	4.7	41.2	20.0	42.9	11.8	26.7	28.6	11.8	33.3	23.8

A：1時間未満 B：1時間以上2時間未満 C：2時間以上3時間未満 D：3時間以上

21. 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどのくらいの時間、携帯電話やスマホで通話やメール、インターネットをしますか。（スマホやタブレットを使ってゲームをする時間は除きます。）

A			B			C			D		
今年	前年	一昨年	今年	前年	一昨年	今年	前年	一昨年	今年	前年	一昨年
47.1	60.0	33.3	29.4	13.3	38.1	17.6	26.7	14.3	5.9	0.0	14.3

A：1時間未満 B：1時間以上2時間未満 C：2時間以上3時間未満 D：3時間以上

22. 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどのくらいの時間、テレビゲームをしますか。（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、スマホやタブレットを使ったゲームも含みます。）

A			B			C			D		
今年	前年	一昨年	今年	前年	一昨年	今年	前年	一昨年	今年	前年	一昨年
64.7	73.3	52.4	11.8	13.3	38.1	11.8	13.3	4.8	11.8	0.0	4.8

A：1時間未満 B：1時間以上2時間未満 C：2時間以上3時間未満 D：3時間以上

#### ◆基本的な生活習慣

コロナ禍ということもあり、体調管理に気をつけ、規則正しい生活を送っている生徒が多かったです。また、前生徒会執行部を中心に取り組んできた「あいさつ」も3年間で一番高い数値となっており、これまでの活動の成果が現れているように感じます。新執行部は「SMILE～笑顔溢れる学校へ～」を生徒会目標として1年間活動を行っていきます。全校生徒・全職員が笑顔で元気なあいさつができるよう活動を進めてくれることを期待しています。

#### ◆運動習慣

昨年度の体力向上ボトムアップ事業、そして2年目となった朝の運動「スイッチ on タイム」等の取組の成果もあり、運動時間を確保できている生徒の割合が増えました。しかし、週1回の朝の運動だけではきっかけ作りにはなっても、“体力の向上”とまではいきませんので、健康な体づくりのためにも家族と一緒に運動する機会を作る、徒歩で登下校を行うなど、少しでも子ども達がかからだを動かすことに興味関心を持ち、運動が習慣化されるようご家庭でもご協力いただければと思います。

#### ◆電子機器の利用

携帯電話での通話・メールのやり取り・インターネットを2時間以上している生徒が約1/4と多くいます。テレビやビデオ・DVDを見たり、音楽を聴いている時間は減っていますが、2時間以上ゲームをしている生徒が携帯電話同様、約1/4と多くいます。ゲームも携帯電話を使用することも悪いことではありませんが、使用時間の指定は必要かと思えますので、一方的な約束ではなく、お互いが共通の認識に立って、時間を守って使うよう、家庭でもじっくりと話し合い、ルールを決めていただければと思います。

#### ◆ルールを守る

学校の規則や社会のルール、交通ルール等を守っていると答えた生徒が100%で、規範意識の高さが伺えました。身の回りの整頓を心掛けている生徒の割合も昨年度より増えていますが、気付いたら汚くなっている生徒もいるようです。学習用具の忘れ物や配布プリントが保護者の方に渡らないご家庭もあるようですので、次の日の持ち物の確認やカバンの中身のチェックなどしていただければと思います。

#### ◆チャレンジ精神

「将来の夢や目標を持って過ごしている」、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」生徒の割合が昨年度に比べ、大きく上がりました。また、「自分には良いところがある」と感じている生徒の割合も増え、日々の成功体験の積み重ねが自尊感情の向上へとつながっているようです。更なる向上につなげられるよう今後も支援していきたいと思えます。

#### ◆地域社会・参画意識

「学校や地域をよくするために自分に何ができるかを考えることがある」という生徒が年々増えてきています。今年度はコロナ禍のため、CSの活動も中止・縮小等を余儀なくされましたが、過去2年間のCSにおける地域の方との関わりや3年間の地域科の授業を通して「三笠の未来を考える」といった取組の中で地域を愛する気持ちが育ってきていると思えます。来年度は新型コロナウイルス感染症が終息することを願い、充実した取組を行えるよう計画をしていきますので、保護者・地域の皆様方のご協力、よろしくお願いいたします。

### 【時間の目安を決めて子どもの生活リズムを整える！】

#### 学 習 時 間

(三笠市立萱野中学校中学生の家庭学習ガイドよ)

第1学年 = 90分以上

第2学年 = 120分以上

第3学年 = 150分以上

#### 運 動 時 間

1日60分以上

テレビやゲーム、インターネットや携帯電話など  
学習以外でメディアに触れる時間

1日合計2時間以内

#### 読 書 を す る 時 間

まずは1日10分以上

これらアンケートの結果を真摯に受け止め、生徒1人ひとりが生き生きと安心して学校生活を送れるように全職員一丸となって教育活動に取り組んで参ります。

現在のコロナ禍、そして、来年度から全面実施となる新学習指導要領、GIGA スクールの導入など、これからも地域・保護者の方々のご協力をいただく場面がたくさんあります。保護者の皆様並びに地域の皆様におかれましては、今後とも本校の教育活動・本校生徒へのご支援等、ご理解とご協力をお願いいたします。